

会場アクセス

●会場

つくば市役所2階 会議室201
所在地:茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1
Tel.029-883-1111

●交通案内

【お車をご利用の方】

常磐道 谷田部インターから 約15分
圏央道 つくば中央インターから 約10分

【電車をご利用の方】

つくばエクスプレス「研究学園駅」から 徒歩7分
詳細はつくば市役所ホームページをご確認ください。



つくば市役所 アクセス

検索

お申込み・お問い合わせ

申込方法：参加を希望される方は、電話、FAX、Eメールのいずれかで事前にお申し込みください。
※参加申込〆切：平成26年12月11日(木)

つくば発先端技術発表会 つくば発イノベーション第29回講演会 (12/15) 参加申込書

※見学会のグループ分けの通知を行うため、電話番号・メールアドレスは分かりやすい文字ではっきりとご記入ください。

会社名/団体名				
所在地/住所				
電話番号				
メールアドレス	講演会・見学会の出欠			
お名前	役職・所属	氏名	1. 両方に参加 2. 講演会のみ参加 3. 見学会のみ参加	見学会の グループ分け希望 ()班
	役職・所属	氏名	1. 両方に参加 2. 講演会のみ参加 3. 見学会のみ参加	見学会の グループ分け希望 ()班
	役職・所属	氏名	1. 両方に参加 2. 講演会のみ参加 3. 見学会のみ参加	見学会の グループ分け希望 ()班

※先着順で受付いたします。なお定員は100名です。
※「講演会・見学会の出欠」は、「両方に参加」「講演会のみ参加」「見学会のみ参加」のいずれかを○で囲ってください。
※見学会に参加の場合は、中ページを参照の上、希望するグループを記入してください。
※ご記入いただいた内容は、つくば市、(独)産業技術総合研究所、(一社)つくばグローバル・イノベーション推進機構、(株)常陽銀行が取得・管理し、次の目的のみに使用いたします。
1. 本イベントに関連するご連絡
2. 上記4者からイベント等のご案内

【お申込み・お問い合わせ先】 次のいずれかにご連絡ください。
(一社)つくばグローバル・イノベーション推進機構 (担当 岸田)
Fax.029-853-5889 TEL.029-853-5887
メール. collabo.system@un.tsukuba.ac.jp
(株)常陽銀行 地域協創部 (担当 白石)
Fax.029-300-2606

つくば発先端技術発表会 つくば発イノベーション第29回講演会

ロボット介護機器の 開発・導入最前線

科学・技術に関する“日本の英知”が集積するつくばにおいて、研究シーズや事例の発表を通し、成果を社会へ還元するとともに、つくばの産業力強化・イノベーション創出を実現します。

今回は、つくば市、(独)産業技術総合研究所、(一社)つくばグローバル・イノベーション推進機構及び(株)常陽銀行が連携し、『ロボット介護機器の開発・導入最前線』をテーマに、ロボット介護機器の開発・現場への導入がどのような形で進められているのかについて、介護の現状を見据えた観点と技術開発サイドの観点の双方をふまえてご紹介いたします。

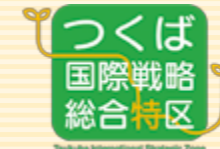
『イノベーション創出のフィールド』『技術開発の街』そして『ロボットの街』として、つくばの可能性を大いに感じていただきたいと思います。

開催日時 平成26年12月15日(月) 10:00~12:30(開場 9:30)

開催場所 つくば市役所2階 会議室201

定員 100名

参加費用 無料



- 主催 つくば市、(独)産業技術総合研究所、(一社)つくばグローバル・イノベーション推進機構
- 共催 (株)常陽銀行
- 後援 茨城県、(株)つくば研究支援センター

第1部：講演会

司会：産業技術総合研究所 つくばセンター 次長 永壽 伴章

10:00～ 開会

10:00
10:20 開会挨拶



10:20
10:55 基調講演①

「よくする介護」にむけたロボット介護機器の開発・導入最前線



独立行政法人 産業技術総合研究所 知能システム研究部門 招聘研究員

大川 弥生

介護にはこれまでの「助けるだけの介護」から「よくする介護」への大きな転換が求められています。すなわち「人」の「生活」「人生」を「よくする」観点が重要なのです。

この方向性の具体化にむけて物的介護手段としてのロボット介護機器の開発・導入の具体的戦略を明らかにすることが急務であり、その目的で「ロボット介護機器開発・導入促進事業（経済産業省）」で研究開発を行っています。本事業で明らかにしたロボット介護機器開発の基本的考え方、具体的実施のための「開発コンセプトシート」や実証試験のあり方等をご紹介します。

10:55
11:30 基調講演②

ロボット介護機器開発最前線



独立行政法人 産業技術総合研究所 知能システム研究部門 研究部門長

比留川 博久

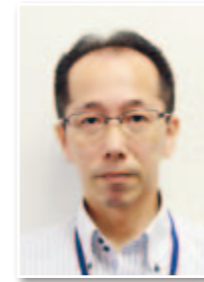
経済産業省が実施中のロボット介護機器開発・導入促進事業を中心として、現在実施されているロボット介護機器の開発状況、技術開発内容、効果評価、導入のための課題について解説します。具体的には、移乗支援、移動支援、排泄支援、入浴支援、見守り等の機器の開発状況についてご紹介します。

11:30～11:45 コーヒーブレイク（講演企業パネル・製品紹介）

11:45
12:05

茨城県内における導入事例紹介①

「電動歩行アシストカートを用いた効果評価の実証事業について」



RT. ワークス株式会社 執行役員

藤井 仁

経済産業省の「ロボット介護機器導入実証事業」の一環である「ロボット介護推進プロジェクト」において、弊社が開発した電動歩行アシストカートを用いて、大規模な実証事業を実施しています。東名阪を中心に55施設98台、うち茨城県では25施設32台と協力をいただいています。電動歩行アシストカートの開発コンセプト、仕様、特徴、また実証事業のチーム体制、スケジュール、効果評価の方法、及び実証実施中の様子などを紹介します。

12:05
12:25

茨城県内における導入事例紹介②

「ロボットスーツが茨城の未来を変える」



CYBERDYNE株式会社 メディケア推進部 部長/湘南ロボケアセンター株式会社 代表取締役社長

久野 孝稔

私どもサイバーダイン株式会社は、テクノロジーは人や社会に役立ってこそ意味があるという信念を基に、人の未来社会を支える仕事をしています。

現在、国内でのロボットスーツHAL関連プロジェクトは、国家戦略特区、つくば国際戦略総合特区、さがみロボット産業特区など、政府、自治体と一丸となって社会実装事業を展開しております。

10年後の2025年。現在基準で、65歳以上の方は700万人増え、それに伴い介護士が2倍必要と言われております。その時に対応出来る様、いまこそ、未来開拓戦略を立案すべきです。

12:25～12:30 閉会あいさつ 株式会社常陽銀行
12:30 閉会

第2部：生活支援ロボット安全検証センター見学会

生活支援ロボットの安全性試験実施機関である「生活支援ロボット安全検証センター」には、ロボット介護機器の実用シーンでのさまざまな状況を再現する「模擬介護施設」が設置されています。今回の講演会に合わせ、特別に模擬介護施設を含むセンター内の見学会を実施します。

見学ご希望の方は、主催者が指定するグループに分かれ、グループごとにつくば市役所から専用バスでセンターに移動し、案内スタッフの誘導に従って見学後、バスで市役所に戻って解散となります。（※自家用車によるセンターへの移動はご遠慮ください。見学会のみの参加も可能です。）



生活支援ロボット安全検証センター

グループ	市役所出発時刻	市役所帰着時刻
1班	13:00	13:50
2班	13:15	14:05
3班	13:30	14:20
4班	13:45	14:35
5班	14:00	14:50

- 各グループの定員は20名です。お申込みの際に希望グループをご記入ください。
- 先着順にグループ分けを行い、前日までにEメールまたは電話でお知らせします。希望グループが満員の場合、別グループに割り振られます。
- 市役所帰着時間は若干変動する可能性があります。
- 出発5分前までに市役所2階の会議室201に集合してください。
- 市役所1階に食堂・売店が設置されています。